



# 人食いバクテリア 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

令和7年1月7日  
富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

## 感染症発生動向速報

(令和6年第52週分・12月23日～12月29日)  
(令和7年第1週分は1月9日(木)発行予定です。)

### 《インフォメーション》

#### ●劇症型溶血性レンサ球菌感染症

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 (Streptococcal toxic shock syndrome; STSS) の全国の実患者報告数は、2019年(894例)まで増加傾向でしたが、2020年の新型コロナウイルス感染症の発生後、やや減少しました。2022年以降再び増加に転じ、2023年には939例が報告されました(図:折れ線グラフ)。また、2024年は第51週時点で1,856例と、昨年の約2倍に急増しました。その理由については、2018年以降に海外から国内に侵入した病原性の高いA群溶血性レンサ球菌であるM1UK株が関与する可能性が示唆されています

(<https://www.niid.go.jp/niid/ja/group-a-streptococcus-m/group-a-streptococcus-iasrs/12461-528p01.html>)。

富山県内の患者報告数は、近年7~21例/年で推移し、2024年は第52週時点で22例が報告されました。また、2024年に患者から分離された原因菌は、A群が9件(41%)、G群が7件(32%)でした(図:棒グラフ)。

STSSは通常無菌的な部位(血液、筋肉など)に溶血性レンサ球菌が侵入することで引き起こされる感染症です。感染経路は飛沫感染や接触感染です。そのため、感染予防策として、手指衛生、咳エチケット、傷口の清潔な処置といった、基本的な感染防止対策が有効です。

STSSは、小児のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは重症度がまったく異なります。STSSは発病から病状の進行が非常に急激かつ劇的で、壊死性筋膜炎、急性腎不全、多臓器不全等を引き起こします。このような特徴から「人食いバクテリア」とも呼ばれています。また、ショック状態に陥り、致命率は30%にも達します。治療は、輸液などの支持療法・全身管理、ペニシリンとクリンダマイシンの併用投与等が行われます。壊死性筋膜炎の場合は速やかに広範囲に病巣を外科的に切除することが必要です。初期症状である発熱や悪寒、四肢の疼痛や腫脹、創部の発赤などが見られた場合には、直ちに医療機関を受診しましょう。

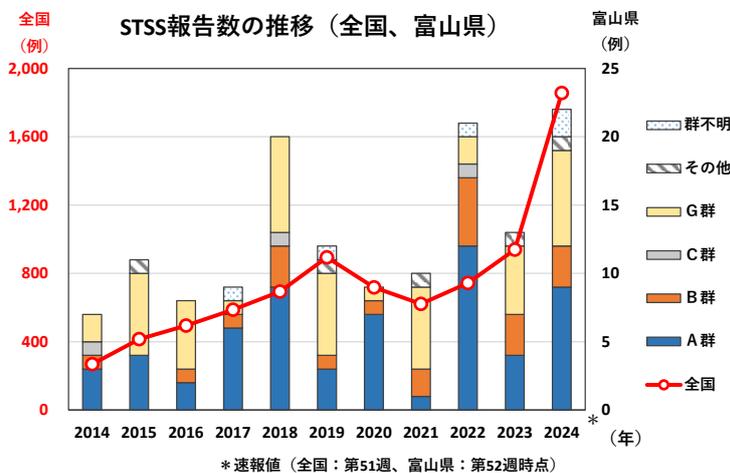
### 《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 1件(70歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件(20歳代、女性、O血清群不明、VT2)
- 四類感染症 レジオネラ症 1件(40歳代、女性、ポンティアック熱型)
- 五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件(70歳代、男性、A群)
- ジアルジア症 1件(90歳代、女性)
- 侵襲性肺炎球菌感染症 2件(①60歳代、男性 ②60歳代、女性)
- 水痘(入院例) 1件(90歳代、女性)
- 梅毒 1件(第51週診断分:50歳代、男性、早期顕症梅毒I期)

### 《定点報告の感染症》

今週の富山県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	インフルエンザ	26.90(↑)	13.48
2位	感染性胃腸炎	9.10(↓)	9.69
3位	COVID-19	5.79(↑)	4.17
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.69(↑)	3.86
5位	マイコプラズマ肺炎	3.40(↑)	1.60
6位	流行性角結膜炎	1.14(↑)	0.71

富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第52週 令和6年12月23日～令和6年12月29日）

分類	疾患	今週報告分（第52週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核			1			1	11	6	34	12	50	113
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く			1			1	7	5	16	8	31	67
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			1			1		2	11	4	8	25
		腸チフス									3			3
	四類感染症	E型肝炎											2	2
		つつが虫病							1					1
		ポツリヌス症											4	4
		レジオネラ症			1			1	3	2	14	5	21	45
	五類感染症	アメーバ赤痢											3	3
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症							2		9		14	25
		急性脳炎									1	1	1	3
		クロイツフェルト・ヤコブ病											1	1
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1	3		4	1	14	22
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										2	5	7
		ジアルジア症					1	1					2	2
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									3	1	8	12
		侵襲性髄膜炎菌感染症											1	1
		侵襲性肺炎球菌感染症			1	1		2	3		3	1	6	13
		水痘（入院例）			1			1	1	1	2			4
		梅毒							3		11	9	24	47
播種性クリプトコックス症												1	1	
破傷風										2			2	
百日咳											1	1	2	
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	177	108	401	188	417	1,291	1,406	1,224	4,890	1,852	5,939	15,311
		COVID-19	25.29	21.60	30.85	26.86	26.06	26.90	2,660	1,343	4,160	2,356	3,430	13,949
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	63	41	66	47	61	278	83	75	639	72	502	1,371
		咽頭結膜熱	9.00	8.20	5.08	6.71	3.81	5.79	138	284	746	40	737	1,945
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	4			6	11	221	199	3,465	357	1,774	6,016
		感染性胃腸炎	0.25	1.33			0.60	0.38	1,095	831	1,758	756	4,682	9,122
		水痘	2	6	12		10	30	3	20	128	17	99	267
		手足口病	0.50	2.00	1.50		1.00	1.03	284	922	3,697	680	3,887	9,470
		伝染性紅斑	3	8	56	13	56	136	1	33	17	4	18	73
		突発性発しん	0.75	2.67	7.00	3.25	5.60	4.69	12	23	156	39	133	363
		ヘルパンギーナ	18	40	20	18	168	264	2	46	111	95	257	603
		流行性耳下腺炎	4.50	13.33	2.50	4.50	16.80	9.10	4	1	9	3	19	36
		急性出血性結膜炎			2		2	4						
		流行性角結膜炎			0.25		0.20	0.14						
		細菌性髄膜炎			2		2	6						
		無菌性髄膜炎			0.67	0.50		0.21				1	3	4
		マイコプラズマ肺炎	2					2	94	46	111	95	257	603
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.50					0.07	4	1	9	3	19	36	
	眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎			1		1				1	3		4
		流行性角結膜炎			0.50			0.14	13	2	61	5	13	94
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎			4.00		1.14							1	
	無菌性髄膜炎									1	3		4	
	マイコプラズマ肺炎	5	1	9		2	17	16	18	90	43	22	189	
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	5.00	1.00	9.00		2.00	3.40			3			3	
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）	19	2	11		8	5	45	24	15	18	10	10	77
	COVID-19による入院患者	9	11	5	12	3	40	244	213	222	270	620	1,569	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和6年第36週（9月2日）～の集計です。

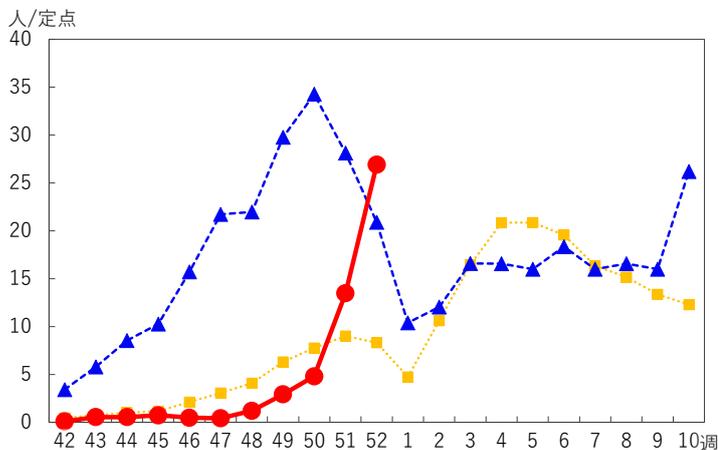
# 今週の富山県内上位6疾患（定点把握）

2024（令和6）年 第52週（12月23日（月）～12月29日（日））

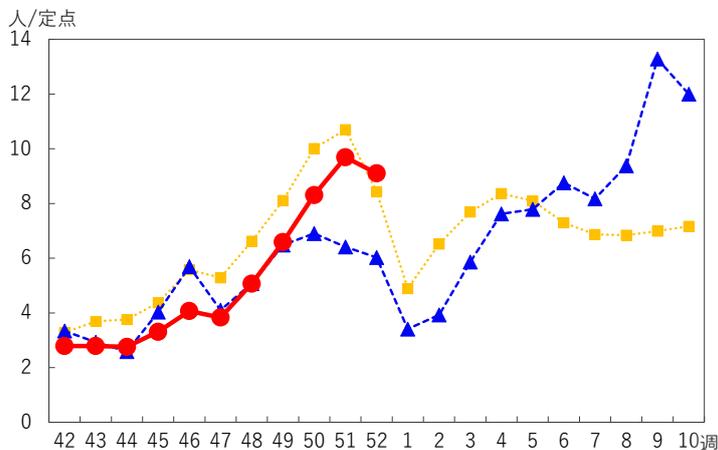
1月7日時点速報値

● 現在 ▲ 前年 ■ 過去10年平均

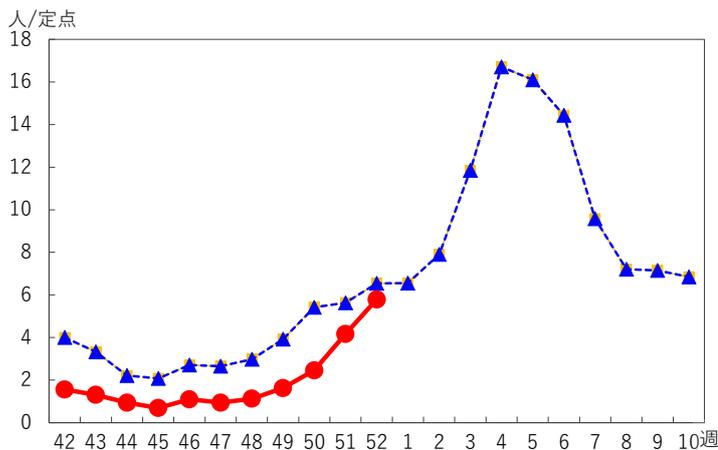
## インフルエンザ



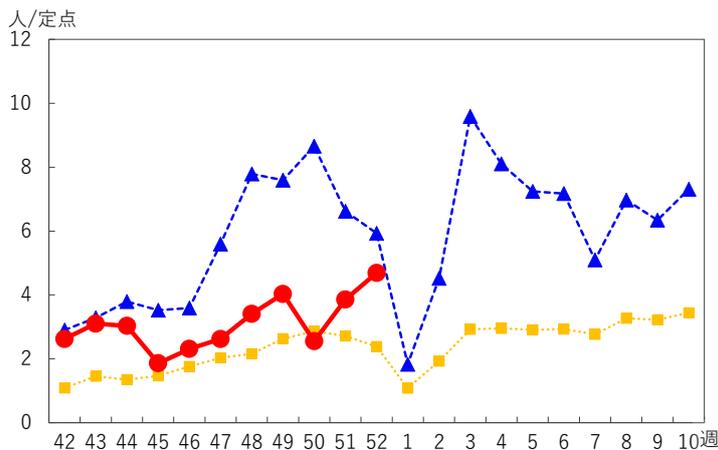
## 感染性胃腸炎



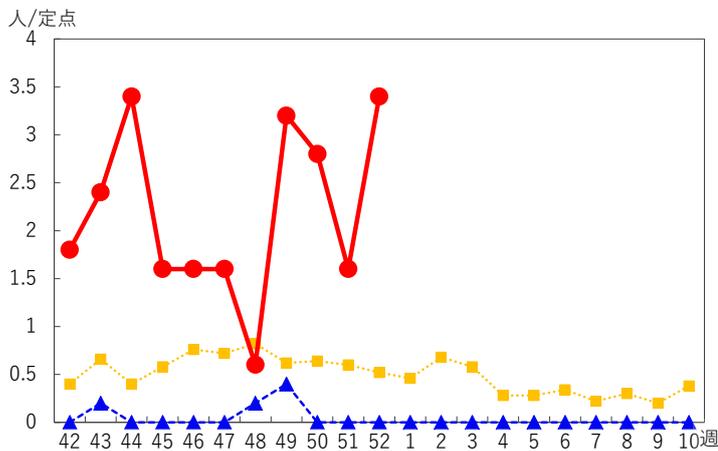
## COVID-19



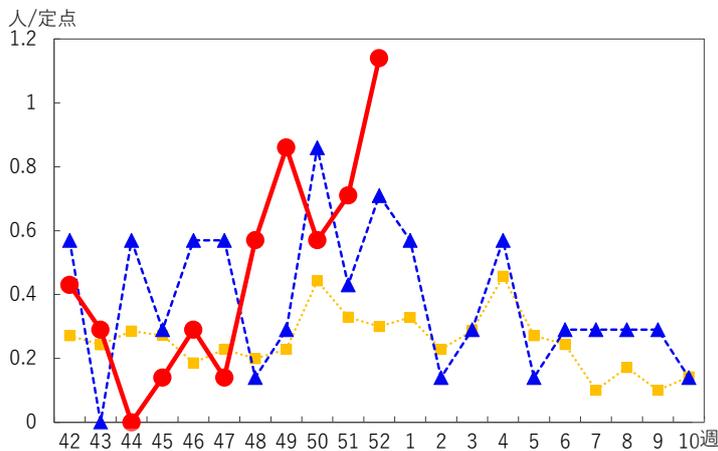
## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



## マイコプラズマ肺炎



## 流行性角結膜炎



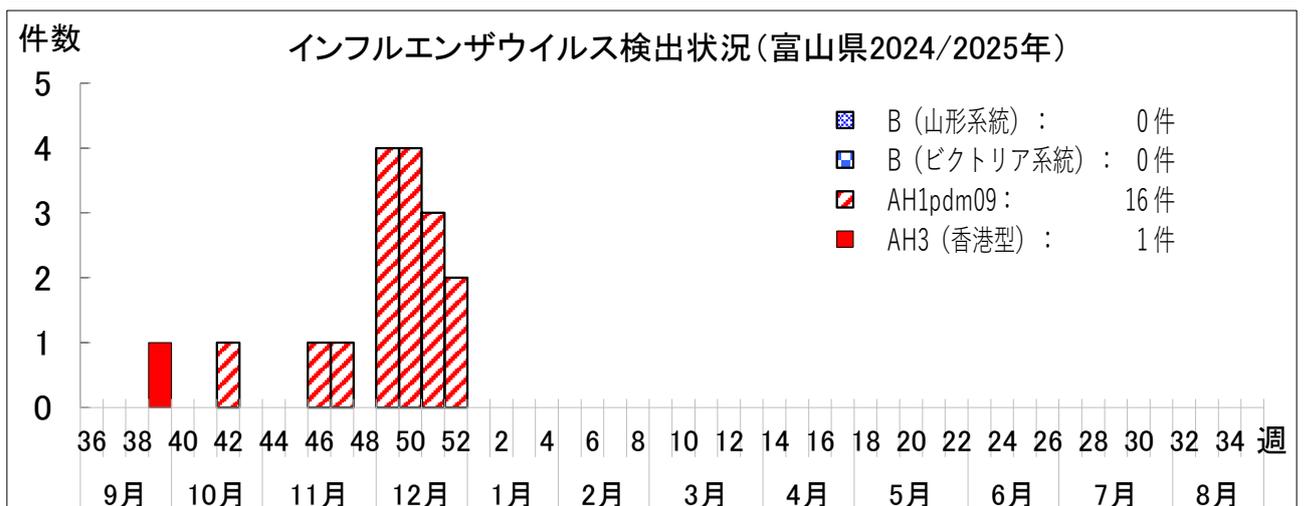
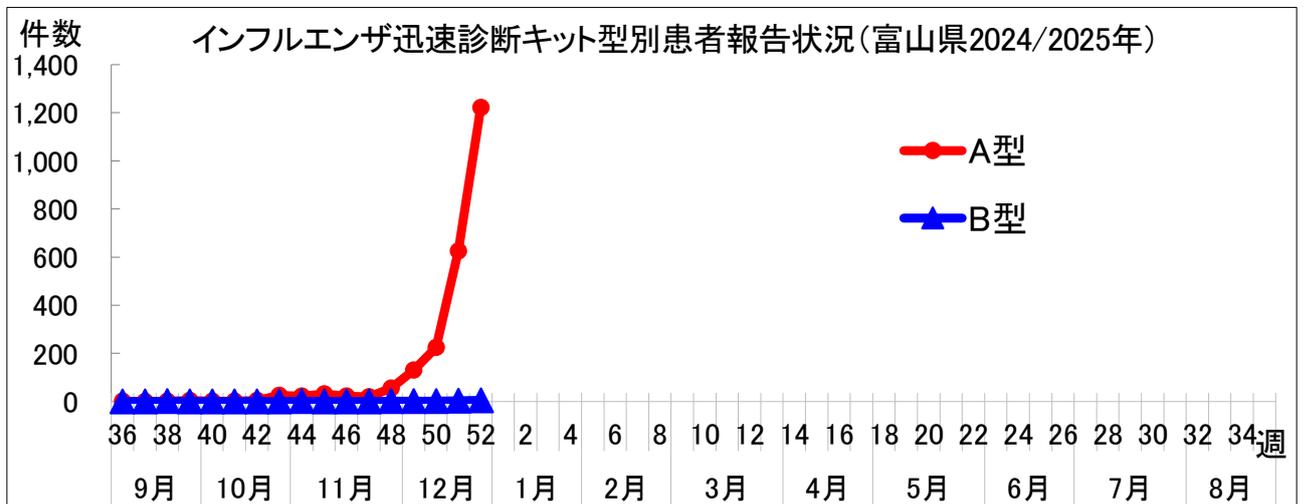
## インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。  
 現在、下の表によると、A型が94.7%となっています。

### 第52週(12/23~12/29)：富山県 26.90人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	171	1	5	177
中部	5 / 5	101	0	7	108
高岡	13 / 13	372	2	27	401
砺波	7 / 7	185	0	3	188
富山市	16 / 16	393	2	22	417
富山県	48 / 48 <sup>※1</sup>	1,222	5	64	1,291
富山県累計(2024年36週~)		2,395	16	103	2,514

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が48か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





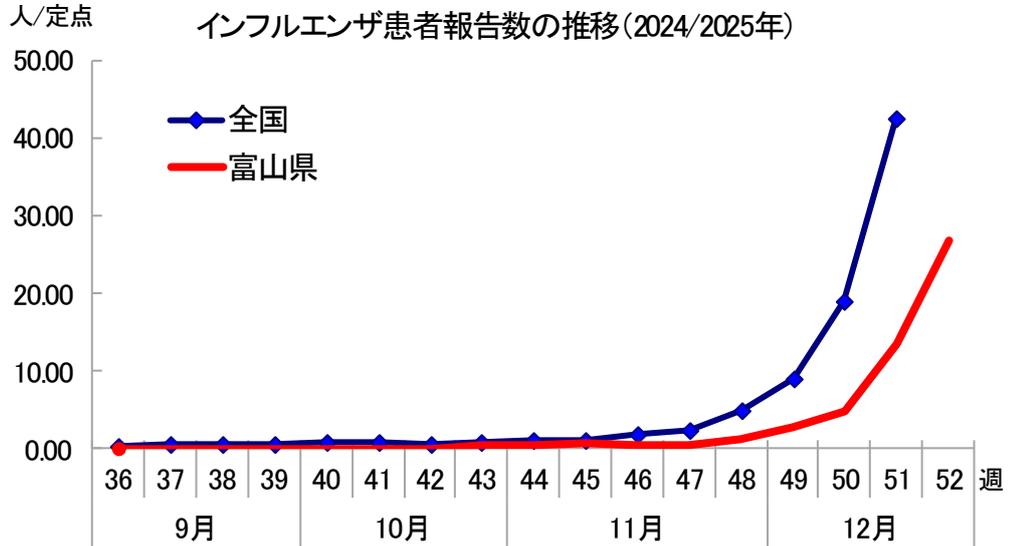
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 52 週 (12/23~12/29) : 富山県 26.90 人/定点

新川 HC (25.29)、中部 HC (21.60)、高岡 HC (30.85)、砺波 HC (26.86)、富山市 HC (26.06)

全国の患者報告数は、第 51 週に 42.66 人/定点となり、警報レベルの基準である 30 人/定点を超えました。

県内の患者報告数は第 52 週に 26.90 人/定点となり、前週より顕著に増加しています。

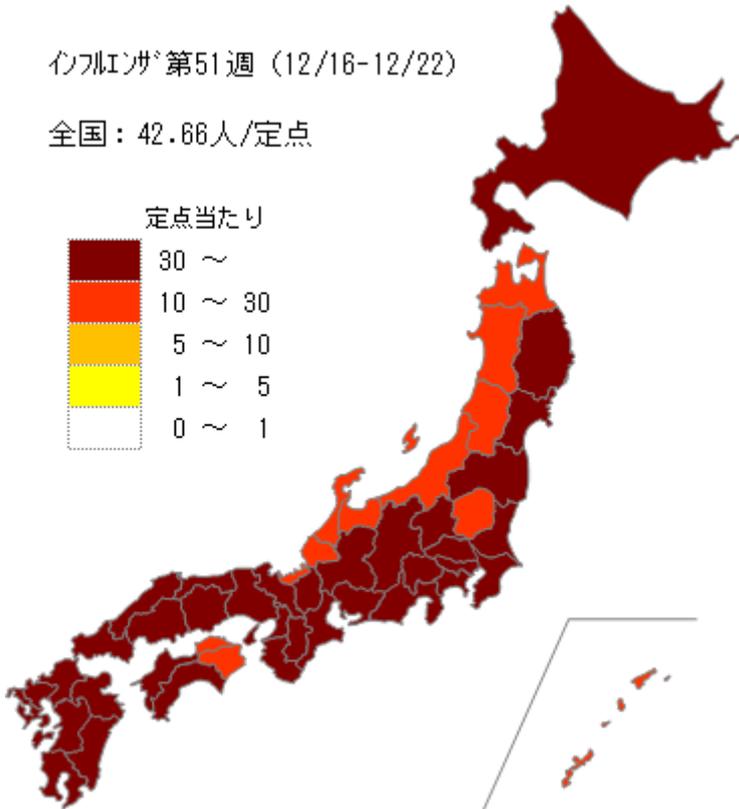


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 51 週 (12/16~12/22)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 42.66 人となり、前週の 19.07 人より増加しました。47 都道府県すべてで前週より増加しています。

インフル第51週 (12/16-12/22)

全国：42.66人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	42.78 ↑	滋賀県	37.53 ↑
青森県	15.74 ↑	京都府	35.46 ↑
岩手県	32.54 ↑	大阪府	45.75 ↑
宮城県	32.66 ↑	兵庫県	46.65 ↑
秋田県	18.19 ↑	奈良県	45.78 ↑
山形県	16.60 ↑	和歌山県	30.63 ↑
福島県	31.80 ↑	鳥取県	30.72 ↑
茨城県	35.79 ↑	島根県	39.66 ↑
栃木県	25.57 ↑	岡山県	31.95 ↑
群馬県	34.18 ↑	広島県	39.35 ↑
埼玉県	51.06 ↑	山口県	50.03 ↑
千葉県	60.03 ↑	徳島県	28.78 ↑
東京都	40.02 ↑	香川県	27.91 ↑
神奈川県	48.56 ↑	愛媛県	52.68 ↑
新潟県	24.39 ↑	高知県	31.16 ↑
富山県	13.48 ↑	福岡県	59.86 ↑
石川県	20.67 ↑	佐賀県	61.62 ↑
福井県	21.69 ↑	長崎県	41.96 ↑
山梨県	55.63 ↑	熊本県	49.10 ↑
長野県	35.55 ↑	大分県	82.64 ↑
岐阜県	39.80 ↑	宮崎県	50.64 ↑
静岡県	38.14 ↑	鹿児島県	65.57 ↑
愛知県	56.79 ↑	沖縄県	10.43 ↑
三重県	44.21 ↑	全国	42.66 ↑